

公開講座

「地域における

がん予防啓発運動とその評価」

個人の健康診断から・・・地域・全国・地球規模の疫学調査から見えてくるものは？

5回シリーズ(予定)

- 第1回 感染症とがん：疾病とともに移動する人類
- 第2回 糖尿病とがん：健康運動で予防可能
- 第3回 呼吸器疾患とがん：防煙・禁煙・分煙の重要性
- 第4回 循環器疾患とがん：飲酒習慣の光と陰
- 第5回 うつ病とがん：生活満足度とストレス対応

第1回 感染症とがん：疾病とともに移動する人類

■日時：平成26年1月11日(土)午後1時～3時

■場所：愛媛大学城北キャンパス 共通教育講義棟1階

■講師：田島和雄

(前 愛知がんセンター研究所所長、現 名古屋大学・三重大学客員教授 etc)

■対象：一般

■聴講無料

主催：愛媛大学総合健康センター、後援：NPO 法人愛媛大学校友会人材活用センター

“がん”は様々な要因が絡み合って出現するものです。持って生まれた遺伝的要因にとどまらずその後の生活環境のなかにも多数の要因が潜在します。近年、生活環境の要因分析と評価が急速に進み、生活習慣の中でのリスク啓発と回避が“がん”予防の重要な戦略となっています。“がん”はまさに生活習慣病!

第1回は感染症と“がん”との関係です。感染症の中にも“がん”リスクが多く知られるようになりまし。なかでも成人型T細胞白血病の原因ウイルスとしてHTLV-1がよく知られています。このHTLV-1は不思議なことに日本人に特有なものです。その独特な生態に着目し日本民族漂流の痕跡を環太平洋地域人々の遺伝子に辿ります。

”がん”は先ず予防

問合せ先：愛媛大学校友会 089-927-8610 office@koyu.ehime-u.jp